

# 医療福祉・在宅看取りの 地域創造会議 通信 第14号 (H26/6/10)



平素は、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」へのご理解・ご協力ありがとうございます。  
5月下旬からの真夏の様な暑さから梅雨入りし、じめじめした日々になってきましたね。

サッカーのFIFAワールドカップブラジル大会が開催されました。  
今回はその20回目となる記念大会。またブラジルでの開催は、決勝戦が『マラカナン』と呼ばれた1950年大会以来64年ぶりだそうです。W杯初のゴール機械判定導入があるそうです。  
どの国が優勝するのか、7月13日の決勝までしばらく寝不足の日が続くそうですね。



## 第28回ワーキング会議(6/5)



今回は草津まちづくりセンターでの開催に34名の方にご参加いただきました。

守山顔の見える会の代表のふくだ医院福田正悟先生、守山市地域包括支援センター保健師の池田さん、守山市在宅医療・介護連携サポートセンターの保健師三津川さんの活動の報告 ありがとうございます。  
その後参加者の皆さんが5グループにわかれて和やかにそして活気あふれる意見交換をしていただきました。一部をご紹介します。

顔の見える関係づくりを進めるには  
最初は行政がリードしてほしい



市が支援していく姿勢を  
市民に伝えていくことが必要



介護職から見ると医師との垣根はまだ高い  
それを取り除くのは市、行政でもある

マスコミの力は大きい。2年ぐらい前と比べて「病気を治すことができないのであればよけいな処置はいらない」と在宅を選ぶ人が増えてきている

守山市の取り組みには市長が取り組みを  
熱心にPRしていることも大きい

どのような趣旨の集まりか  
会のPRを進めることが大事



圏域によってはマンネリ化してきている。主催を持ち回り  
するなど各職種が主体的に参加できる仕組みが必要

かかりつけ医の確保を進めるには医師の参画が重要  
積極的に巻き込んで現場の実態や必要性を伝えることが重要

地域レベルの会は福祉職の出席しやすい時間に設定  
するなど、気楽で皆が参加しやすい工夫。

地域医療センターと地域包括  
センターのつながり、連携が大事

介護者に対する支援を  
考えていきたい



参加者を増やすだけでなく参加している人が中核メ  
ンバーとなって活動していただけるよう、参加者の思  
いを大事にしていくことも必要

リーダーが必要  
事務局がどこであるか  
を示す必要



複数の医師との連携が大事  
医師同士の関係も深まるのでは？



県民(市民)が入ることで連携に  
深みが出る

### ★★★★次第★★★★

☆あいさつ・報告・連絡事項

☆情報提供

☆ワーキング

- ・活動紹介「守山顔の見える会の活動について」  
守山顔の見える会 代表  
(ふくだ医院 院長) 福田 正悟さん  
守山市地域包括支援センター  
保健師 池田 初美さん  
守山市在宅医療・介護連携サポートセンター  
保健師 三津川 さつきさん

☆意見交換・グループワーク

「それぞれの地域で、多職種のチーム  
づくりをすすめるために・・・」



## 今年度ワーキング会議開催予定

年間の開催予定日をお知らせいたします。

9月11日(木)・10月9日(木)

12月11日(木)・1月8日(木)

2月12日(木)・3月12日(木)

時間はいずれも18:30~20:00

で、場所および内容については、

追ってご連絡させていただきます。

よろしくお願ひいたします。

※8月は31日(日)総会

11月は15日(土)県民フォーラム

のため、ワーキンググループ会議は

お休みです。

## 次回ワーキンググループ会議のご案内!

次回の会議は、

7月10日(木)18:30~20:00

滋賀県庁北新館5階5Aで開催です。

会員の方には、後日メールで出欠の

ご確認をさせていただきます。

初めて参加をご希望される方は、開催日

5日前までに、事務局までご連絡ください。

よろしくお願ひいたします。

お知らせ♪事務局職員が替わりました。

どうぞよろしくお願いいたします。 橋本



ご意見・ご感想等お寄せいただければ幸いです。

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議

運営事務局(滋賀県庁 医療福祉推進課内)

TEL:077-528-3581 FAX:077-528-4851

E-mail: info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp

担当 山本・橋本